

## GPS 安全性要約書

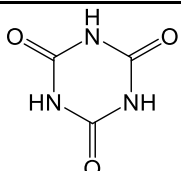
この安全性要約書は、ICCAのGPSに則って本物質の安全な取り扱いに関する一般的な情報を提供することを意図したものです。この要約書に記載されている情報は基本的な情報であり、緊急時の対応や医療又は治療処置に関する情報を提供するものではありません。本物質について網羅的に安全、健康に関する情報をお知りになりたい場合は、弊社発行の安全データシート(SDS)も合わせてご参照ください。

## 物質名 (SUBSTANCE NAME)

## シアヌール酸

## 物質の概要 (GENERAL STATEMENT)

シアヌール酸は白色、無臭な粉体である。当社のシアヌール酸は主にトリアジン骨格を持つエポキシ化合物「テピック®」、プール、浄化槽向けの殺菌・消毒剤「ハイライト®」、難燃剤として利用される「メラミンシアヌレート」の原料として使用される。

項目	
一般名	イソシアヌル酸
商品名	シアヌール酸
化学名	Isocyanuric acid
濃度	100%
CAS番号	108-80-5
その他の番号	化審法官報公示整理番号 : (5)-1037, (5)-1038
分子式	C <sub>3</sub> H <sub>3</sub> N <sub>3</sub> O <sub>3</sub>
構造式	
出典・備考	化学物質総合情報提供システム (CHRIP) <a href="https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop">https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop</a>

## 使用・用途と適用 (USES AND APPLICATIONS)

当社製品の主な用途	主に「テピック®」、「ハイライト®」、「メラミンシアヌレート」の原料に使用される。
-----------	---

## 物理化学的特性 (PHYSICAL/CHEMICAL PROPERTIES)

項目	内容
外観(物理的状态)	固体(粉体)
色	白色
臭い	無臭
分子量	129.07 g/mol
比重	2.5 (19 °C, 無水物), 1.768 (0 °C, 二水和物)
融点	>360 °C (無水物)
蒸気圧	情報なし
出典・備考	日産化学株式会社SDS(安全データシート)

## ヒト健康影響 (HEALTH EFFECTS)

影響評価	結果 (GHS危険有害性分類)
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(吸入-気体)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入-蒸気)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入-粉塵/ミスト)	分類できない

急性毒性(経皮)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
出典・備考	日産化学株式会社SDS(安全データシート)

### 環境影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

影響評価	結果 (GHS危険有害性分類)
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない
出典・備考	日産化学株式会社SDS(安全データシート)

環境運命・動態	結果
環境中の移行性	情報なし
好氣的生分解性	難分解性
生物蓄積性	蓄積性は低いと推測される
PBT/vPvBの結論	PBT <sup>*1</sup> 、vPvB <sup>*2</sup> に該当しない
出典・備考	日産化学株式会社SDS(安全データシート) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP) <a href="https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop">https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop</a>  *1 PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic(環境中に残留性し、高い生物蓄積性と強い毒性を有する) *2 vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative(環境中に非常に残留性しやすく、非常に高い生物蓄積性を有する)

### ばく露 (EXPOSURE)

項目	ばく露
作業者ばく露	ばく露の可能性がほとんど存在しない閉鎖系での作業に用いられる場合は、作業者に対してほとんどばく露の可能性がない。 閉鎖系ではなく、ばく露の機会のあるバッチおよびその他のプロセスでの作業の場合、メンテナンス、サンプリング、充填、排出、および装置故障の際等に、作業者への吸入ばく露の可能性はある。
消費者ばく露	工業製品の製造工程等で使用されるため、一般消費者ばく露の可能性はない。
環境ばく露	産業における物質の製造工程から、主に大気及び水環境へ放出される可能性がある。

### 推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS)

項目	推奨するリスク管理措置
対作業者ばく露	作業の際は、適切な保護具を着用し、適切な局所排気を適用する。眼、皮膚への接触や吸入を避ける。また、作業環境許容濃度の勧告値が設定されている場合は、それを下回る環境濃度となるよう管理・制御する。
対消費者ばく露	工業製品の製造工程等で使用されるため、一般消費者ばく露の可能性はない。
対環境ばく露	適切な排水処理施設や排ガス処理施設を設置する。また、漏洩防止策を講じ、定期的な排出量の確認、日常管理、取り扱いに注意を払う。

法規制情報/ラベル情報 (REGULATORY INFORMATION AND LABELLING INFORMATION)

法律	内容
化審法	一般化学物質
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律	非該当
外国為替及び外交貿易法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
港則法	非該当
道路法	非該当
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	非該当
水道法	非該当
労働基準法	非該当

ラベル情報	内容
絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	・眼刺激 (H320)
注意書き	<p>【安全対策】 取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)</p> <p>【応急処置】 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) 眼の刺激が続き場合：医師の診察/手当を受けること(P337+P313)</p>

国際機関、各国当局によるレビュー (STATE AGENCY REVIEW)

名称	参照先
OECD SIDS	<a href="https://hpvchemicals.oecd.org/UI/Default.aspx">https://hpvchemicals.oecd.org/UI/Default.aspx</a>
国際化学物質安全性カード (ICSC)	<a href="http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.display?p_lang=ja&amp;p_card_id=1313&amp;p_version=2">http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.display?p_lang=ja&amp;p_card_id=1313&amp;p_version=2</a>

連絡先 (CONTACT INFORMATION WITHIN COMPANY)

会社名	日産化学株式会社
住所	東京都中央区日本橋二丁目5番1号
担当部門	環境安全・品質保証部 環境安全グループ
電話番号/FAX番号	03-4463-8430 / 03-4463-8391

発行・改訂日 (DATE OF ISSUE/REVIEW) その他の情報 (ADDITIONAL INFORMATION)

初版: 2021年10月25日

改訂情報:	改訂日	項目	改訂箇所

特記事項: なし

免責事項 (DISCLAIMER)

この安全性要約書の目的は、製品の情報を簡単な概要として提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を提供するものではありません。  
また、安全データシート (SDS)、または化学品安全性報告書 (CSR) などのリスク評価に代わる文書として作成されたものではありません。  
また、記載内容は現時点で入手できる法令、資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。